

感染対策Q&A

質問1

熱や咳があります。どうしたらよいですか？
(高齢者や妊娠中の方が特に注意することはありますか?)

対応1

次のいずれかに該当する場合は「帰国者・接触者相談センター」にご相談いただく目安となります。発熱や咳などの風邪症状がみられるときは、学校や仕事を休み外出を控え、毎日、体温を測定して記録してください。

- 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方
- 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方

※高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPDなど)の基礎疾患がある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方は重症化しやすいため、この状態が2日程度続く場合には、「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

※妊婦の方については、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めに「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

質問2

新型コロナウイルス感染症に感染したかも?と思ったら、どこに相談すればよいですか?

対応2

以下の岐阜県が設置する「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

質問3

病院を受診する場合に、一人ひとりが「心がけること」「注意すること」はどのようなことですか?

対応3

医療機関を受診する前に、あらかじめ電話で症状や感染者との接触の可能性などについてご相談していただき、マスクなどを使用のうえ、医療機関の指示に従って受診してください。発熱がある場合は、体温を記録しておきましょう。

質問4

家族に、熱や咳をする人がいた場合、家庭でどんなことに注意すればよいですか?

対応4

病状のある方に介助が必要な場合は、介助を担当する人を決め、マスクの着用や手洗い消毒など感染予防対策をとって介助してください。症状があるうちは、タオルや食器など共有しないようにしましょう。

岐阜県 **帰国者・接触者相談センター(飛驒保健所)**

☎0577-33-1111 内線309

相談受付時間:24時間